

12月自然観察園の花だより

NO. 1
令和5年12月号
発行 野川公園緑の愛護
ボランティアの会 (1128)

白 色 イヌホオズキ
コウヤボウキ
コバノタツナミ
シロバナアブラギク
シロヨメナ

黄 色 オオジシバリ
コセンダングサ
センダングサ
ツワブキ

淡紅色 キチジョウソウ

淡紫色 カントウヨメナ

紅紫色 シュウメイギク
ノハラアザミ
トネアザミ

淡紫白 ノコンギク

青紫色 コンギク

シダ類 フユノハナワラビ

冠 毛 タカアザミ
トネアザミ
フジバカマ

色づいた樹木

アカシデ(褐)
アブラチャン(褐)
イロハモミジ(紅)
イヌシデ(黄)
エノキ(黄)
ガマズミ(橙紅)
クロモジ(黄)
コナラ(褐)
トチノキ(褐色)
ハゼノキ(橙紅)
ブナ(褐)
マンサク(褐)
ムクロジ(黄)
ヤマコウバシ(褐)
ラクウショウ(褐)
ロウバイ(黄)



フユノハナワラビ

閉鎖花と冠毛 センボンヤリ

色づいた実

赤 色 ガマズミ(樹)
キチジョウソウ
サネカズラ(つる・樹)
ハダカホオズキ
フイチゴ(つる・樹)
マンリョウ(樹)
ムサシアブミ
ヤブコウジ(樹)
ヒヨドリジョウゴ(つる)

褐 色 ウバユリ
ガガイモ(つる)
ジュズダマ
センダン(樹)
ツルマメ(つる)
ヘクソカズラ(つる)
ヤブマメ(つる)
★オオオナモミ

緑 色 ◆ハンノキ(樹)

藍 色 クサギ(樹)
ヤブミョウガ

橙赤色 カラスウリ(つる)
ツルウメモドキ(つる・樹)

白 色 シロミノコムラサキ(樹)

黒 色 アマチャヅル(つる)
イヌツゲ(樹)
エノキ(樹)
ゲンノショウコ
ゴズイ(樹)
サンショウ(樹)
シオデ(つる)
スイカズラ(つる・樹)
センダングサ
ヒオウギ
ヒサカキ(樹)
ヤブラン(種)
ヤマコウバシ(樹)
ムクノキ

紅葉の仕組み

秋が深まると共に、日照時間が短くなり気温が低下してくると、葉の中のクロロフィル(葉緑素)成分が分解され葉が緑色から黄色に変わる。同時に残存した糖分から新たに赤い色素のアントシアニンが作られ葉が赤みを帯びてくる。落葉期になると、葉柄の基部にコルク質の離層という細胞層が形成されることによって、葉で生成された養分が枝に流れなくなり、葉の中に充満してくるとアントシアニンの生成が盛んになり赤みを増す。

黄葉の仕組み

緑色の色素クロロフィル(葉緑素)が分解されると、黄色い色素のカロチノイドが葉の表面に移動し、緑色から黄色に変わっていく。カロチノイドは若葉の頃からすでに葉の中に生成されているが、クロロフィルの含有量がカロチノイドに比べてその8倍と多いため、夏の間は葉は緑色に見える。黄葉する葉ではクロロフィルが分解されると緑色が消えて隠れていたカロチノイドが目立ち黄色くなる。